

# 平成20年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成20年度予算総額は、485億2,468万6千円となっています。予算編成に当たっては、限られた財源の中、重点的かつ効率的な予算配分に努め、行財政改革の推進や都市基盤整備、少子化対策に重点を置いた予算編成をしました。

## ■一般会計

一般会計は、市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成20年度の一般会計予算は、268億200万円となっています。

## ■歳入

自主財源のうち、市税は93億4,205万円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は50億5,000万円、国庫支出金については26億1,566万1千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上していますが、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

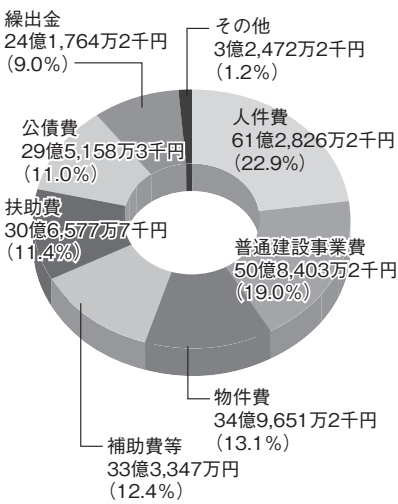
## ■歳出

限られた財源に対し、歳出では経費節減に努め、各種施策の効果的な予算配分を行いました。

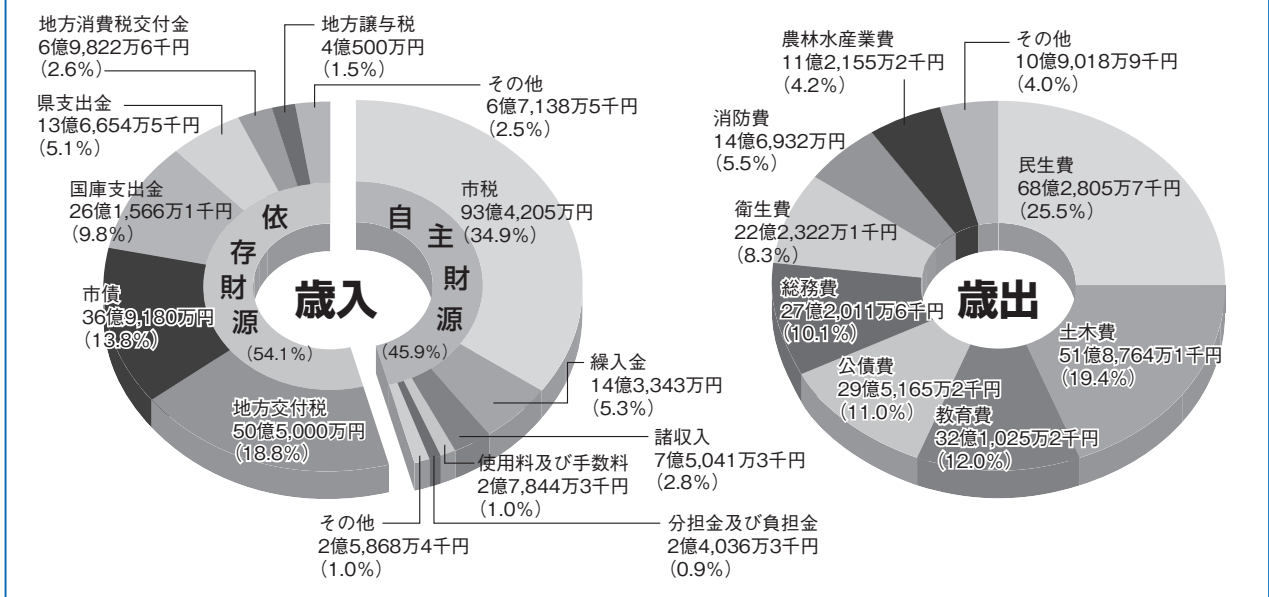
民生費には、高齢者の福祉対策、障害者の入所・通所等の支援費、児童手当、乳幼児や重度心身障害者等の医療扶助、生活保護及び災害関係の経費として68億2,805万7千円を計上しました。

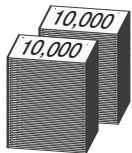
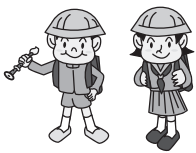



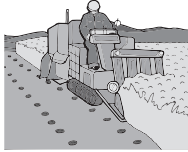



土木費には、生活の基盤である道路の改良工事や公共下水道事業への繰出、友部駅・岩間駅周辺整備事業費など51億8,764万1千円を計上しました。教育費には、小中学校、幼稚園の整備・管理費や生涯学習・公民館・図書館運営などの社会教育費、体育振興・給食センター運営などの保健体育費などとして32億1,025万2千円を計上しました。

## 歳出予算性質別内訳



## 一般会計 268億200万円



公債費	教育費	土木費	民生費	市民一人当たりに使われるお金 ※3月1日現在の人口(住民基本台帳)81,293人で算出
市債の元金・利子の返済  <b>36,309 円</b>	各小中学校や公民館・図書館の運営費など  <b>39,490 円</b>	市道の整備・補修や公共下水道の操出金など  <b>63,814 円</b>	高齢者・障害者福祉対策や医療福祉費など  <b>83,993 円</b>	
その他	農林水産業費	消防費	衛生費	総務費
議会費や商工費など  <b>13,411 円</b>	国・県事業の負担金や農業振興等補助金など  <b>13,796 円</b>	消防団や防災施設整備費など  <b>18,074 円</b>	予防接種や各種健診、ごみ処理事業など  <b>27,348 円</b>	税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など  <b>33,461 円</b>

### 特別会計

区分	予算額
国民健康保険	79億7,961万1千円
老人保健	5億1,623万2千円
後期高齢者医療	6億2,570万円
介護保険	41億円
介護サービス	2,577万円
公共下水道事業	42億779万3千円
農業集落排水事業	4億3,233万円
特別会計合計	178億8,743万6千円

特別会計は、国民健康保険や介護保険、農業集落排水事業などの特定事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として、運営していく会計のことです。本市では、病院事業と上水道事業及び工業用水道事業の三会計があります。

### 企業会計

区分	区 分	予算額
病院事業	収益的支出	5億226万1千円
	資本的支出	2,140万円
	計	5億2,366万1千円
上水道事業	収益的支出	7億8,636万6千円
	資本的支出	6億7,829万円
	計	14億6,465万6千円
友部水道	収益的支出	7億3,868万6千円
	資本的支出	5億8,989万9千円
	計	13億2,858万5千円
岩間水道	収益的支出	3億4,515万8千円
	資本的支出	1億3,671万3千円
	計	4億8,187万1千円
工業用水道	収益的支出	3,647万7千円
	計	3,647万7千円
企業会計合計		38億3,525万円

一般会計	268億200万円	企業会計	38億3,525万円
特別会計	178億8,743万6千円	予算総額	485億2,468万6千円